

## 会議録

会議の名称	令和4年度第1回行財政改革推進委員会
開催日時	令和4年5月23日（月）午前10時から11時20分まで
開催場所等	西東京市役所田無庁舎3階庁議室 及びWEB会議
出席者	委員：横道清孝委員長 原田久副委員長 鈴木文彦委員 池添弘邦委員 岸本恒久委員 佐藤泰治委員 鈴木研太委員 事務局：保谷企画部長 佐野企画部副参与兼企画政策課長 樽見企画部主幹（企画政策課） 前川企画政策課主査 利根川企画政策課主任 小菅企画部副参与兼財政課長 大熊財政課長補佐
欠席者	伊藤俊介委員
議題等	1 市財政について 2 第4次行財政改革の取組状況について 3 第5次行財政改革大綱検討スケジュールについて 4 施策評価の取組について 5 その他
会議資料の名称	資料1 西東京市財政白書令和2年度決算版 資料2-1 第4次行財政改革大綱アクションプラン中間取組状況の概要 資料2-2 第4次行財政改革大綱アクションプラン中間取組状況一覧 資料2-3 第4次行財政改革大綱における財政効果額の推移 資料3 第5次行財政改革大綱検討スケジュール（案） 資料4 施策評価の取組
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	
<p><u>開会</u> 会長より開会の挨拶</p> <p>○事務局：会議の進行の説明</p> <p>○事務局：傍聴要領に基づき、傍聴人の入室を認めたことの報告</p> <p><u>議題1 市財政について</u></p>	

- 横道委員長：  
議題1について、事務局から説明をお願いします。
- 事務局：《資料1に沿って説明》
- 横道委員長：  
「市財政について」について事務局から報告があった。  
委員の皆様から意見等はあるか。
- 鈴木（文）委員：  
定額給付金、物件費、教育費など令和2年度決算は特殊要因が多く、前年度比較が難しいと思われる。どうした背景でどの内訳が増え、その結果当該科目が増えたのか、分析的な書き方がされており、非常によくできていると思う。  
3～5%に調整される実質収支比率に分析指標としての意味があるのだろうか。調整前の、「実質収支+財政調整基金」の標準財政規模の比ならば資金繰り指標の意味がある。  
そもそも決算収支はフローとストックの概念が混じっているので解説があったほうが良いのではないか。  
性質的収支と目的別収支にマトリックス表を掲載することを提案する。また、家計に例えるのではなく、グループ企業に例えることで分かりやすくなるのではないか。  
統一的な基準による決算開示は、公共施設白書や事務事業評価の総括表に移記するのも良い。これは、民間企業でいう固定資産の一括償却ケースが多く、業務活動収支が過小計上されるため、債務償還可能年数が実態以上に悪く算出され財務諸表として載せるのは誤解を生む恐れがある。
- 事務局：  
令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響が色濃く、経年比較は困難である。委員からいただいた御意見は庁内で協議させていただく。
- 横道委員長：  
令和3年度決算のまとめはこれからとなるか。
- 事務局：  
5月末までが出納整理期間であり、その後の市議会定例会において決算の内容を報告させていただく。
- 横道委員長：  
第5次行財政改革大綱の策定時には、今後の財政状況の見通しが基礎資料となるため、特殊要因については、決算の内容を踏まえつつ整理をしていただきたい。
- 鈴木（研）委員：  
ふるさと納税制度で、本来の西東京市に入るはずの市税による歳入が他自治体へ流出している割合はどの程度か。また、逆に本市の歳入となっている額はどのくらいか。
- 事務局：  
令和2年度における流出額は約4億2千9百万円であった。個人市民税が減少となるため、交付税の措置があるものの、流出額は大きくなっている。一方で、ふるさと納税として

の歳入は二千万円程度となっている。令和2年度においては、クラウドファンディングによるふるさと納税を初めて導入し、一定の効果は見られたが、流出額と比較すると少額となっている。

○原田委員：

財政白書を拝見すると、特殊要因がないかのように、冷静に書かれてる印象を受ける。冒頭で、令和2年度決算は特殊であったことを強調しておくべきではないか。

○岸本委員：

西東京市における財政の危機感を、市民が見たときにあまり伝わってこない。西東京市の将来に向けて痛みを伴うことも行う必要がある、ということを発信していただきたい。

## 議題2 第4次行財政改革の取組状況について

○横道委員長：

議題2について、事務局から説明をお願いします。

○事務局：《資料2に沿って説明》

○佐藤委員：

アクションプランの令和2年度の取組状況において、「やむを得ない要因で評価に適さない」とあるが、感染症により評価が困難であったのか、事業自体の実施がなかったのか、その理由を示していただきたい。また、今後ウィズコロナの環境下で、どのように効果測定をしていくのか、検討の状況を教えていただきたい。

○事務局：

令和2年度において新型コロナウイルス感染症により、「やむを得ない要因で評価に適さない」となった項目について補足する。

「1 公共施設等マネジメントの推進」は、市民参加の実施時期の見直しを図り、公共施設等総合管理計画の改定を延伸したものによる。

「5 利用者負担（保育料）の見直し」及び「6 学童クラブ育成料の見直し」は、審議会開催の延期による。

「12 行政評価の効果的運用」は、決算ベースでの行革効果額の比較が困難なためである。

「22 自転車等保管所の集約化」及び「25 はなバス事業の見直し」は、外出自粛により、経年比較が困難なためである。

「28 公民連携事業の見直し」は、工事の延期により事業者の募集を停止したことなどによる。

今後のコロナ禍における効果測定の方法については、感染症の影響による行革効果額の精査を行うなどし、検討していく。

○池添委員：

資料2-2において、評価が下がった理由を資料に追記いただくとわかりやすい。また、B、C評価については、その項目にどのような課題があるか、や、所管課ではどのような改善を検討しているのか、を示していただきたい。市財政に対する市民意識の醸成のために

も、わかりやすい資料提供を心がけていただきたい。

○事務局：

御指摘いただいた点については改善を図っていききたい。

○岸本委員：

行財政改革推進委員会において、過去に配食サービスについて検討したが、これは項目に入っているのか。

○事務局：

アクションプランには位置付けていない。配食サービスは、事務事業評価で進行管理を行っている。

### 議題3 第5次行財政改革大綱検討スケジュールについて

○横道委員長：

議題3について、事務局から説明をお願いします。

○事務局：《資料3に沿って説明》

○佐藤委員：

先日、総合計画の策定のための市民意識調査を実施したと思うが、これをどのようにアクションプランや施策評価に反映していくのか。

○事務局：

市民意識調査の結果は、今後、施策評価に反映させていく予定である。行財政改革大綱への反映については、今後の議論の中で都度報告させていただく。

○佐藤委員：

施策評価の検討結果が、10月頃にはまとまり、それを基に検討するという理解で良いか。

○事務局：

施策評価は、施策ごとに評価を行うものであり、これを今後のアクションプランの策定等にいかしていく。

○佐藤委員：

今後ウィズコロナの時代において市民に新たなライフスタイルが根付いた際、推進すべき項目にも変化があるように思う。どのような推進項目をたてていくか、市民調査の結果を分析し、検討いただきたい。

○池添委員：

大綱の策定に当たりパブリックコメントを実施することだが、期間はどのくらいか。

- 事務局：  
原則1か月以上としている。
- 池添委員：  
市民説明会を開催する際は、高齢者や若い世代が参加しやすい手法を検討いただきたい。
- 鈴木（文）委員：  
次期の行革大綱でも「自治体経営の持続可能性」のコンセプトを維持してほしい。その上で、総合計画とは役割分担することを提案する。  
SDGsは自治体の業務そのものであることを念頭に、自治体本来のSDGsに照らした在り方を総合計画には組み込み、それを支える持続可能な自治体経営とは分けて考えていただきたい。
- 横道委員長：  
総合計画との役割分担をしっかりと位置付け、策定に当たっていただきたい。
- 原田委員：  
従来の行財政改革とは違うものがこの時代に求められている。財政白書の作り方もそうだが、従来から継続して行う取組だけでなく、新たに何ができるか、可能な限り考えていただきたい。
- 横道委員長：  
DXや、ウィズコロナへの順応、それから従来からある課題を、総合的に考えながらよく検討していただきたい。

#### 議題4 施策評価の取組について

- 横道委員長：  
議題4 について、事務局から説明をお願いします。
- 事務局：《資料4に沿って説明》
- 横道委員長：  
事務事業評価は今年度行わないということによろしいか。
- 事務局：  
今年度は実施しないが、次回委員会において、行政評価について事務局の検討状況を報告し、御意見をいただきたい。

#### 議題5 その他

- 横道委員長：  
議題5「その他」について、事務局から何かあるか。

○事務局：

次回の委員会の開催日程は、8月頃を予定している。

○横道委員長：

これで令和4年度第1回行財政改革推進委員会を閉会する。

《閉会》